

令和5年度 大内こども園評価書

1 施設の概要

施設名	東かがわ市立大内こども園	園長	谷口 美香
住所	〒769-2605 東かがわ市中筋367番地1	TEL	0879-25-3777
HP		E-mail	mlw4101@city.higashikagawa.lg.jp

園児数 学級数 (R5.5.1)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	3名	16名	18名	27名	35名	38名	137名
	1学級	1学級	2学級	2学級	2学級	2学級	10学級

職員 (R5.5.1)	園長	副園長	保育教諭	保育教諭 補助員	庁務員
	1名	1名	29名	6名	1名

園教育 ・保育 目 標	心豊かで心身ともにたくましく生きる子どもの育成
経営の重点	1 乳幼児の心身の発達、家庭、地域の実情に即した編成を行う。 2 乳幼児を取り巻く社会変化や保護者のニーズに対応し、健康な心と体の育成、生きる力の基礎を育むことを重視した編成を行う。 3 個の発達や生活の実情を考慮した上で、乳幼児一人一人の特性に応じたねらいや内容を設定し、それらを総合的に達成できるように0歳児から5歳児までの長期的な視野をもって編成する。 4 職員研修の充実を図り、専門家としての資質向上に努める。
指導の重点	1 家庭や地域の実情を把握し、健康で安全な生活を進める力をつける。 2 様々な体験活動を通して、豊かな心や体力づくり・挨拶など基本的生活習慣の確立を目指す。 3 個人差に配慮しながら、0歳児から5歳児までの長期的な発達を見据えた目標を持ち、遊びこめる子どもを育てる。 4 職員の実態に応じた研修の工夫やICTの活用により、職員の資質向上や業務の効率化に努める。

2 園教育評価

	評価項目	自己 評価	学校 関係者 評価
確かな基礎学力の定着	◎基礎的・基本的な学力定着、伸長のための適切な指導が計画的に行われているか。		
	育てたい子どもの姿と子どもの興味・関心を重ねた保育を計画しているか。	A	A
	子どもの年齢や発達に応じた環境構成や教育・保育内容であるか。	B	
	子ども一人一人の思いや考えを大切にし、生活への意欲につながる取組をしているか。	B	
	子ども自ら関わろうとする園内環境の工夫をしているか。	B	
心豊かな温かい人づくり	◎豊かな心を育み、正しい規範意識と生活習慣を身に付けた子どもの育成が図られているか。		
	遊びや生活を通して、様々な感情体験を重ねているか。	B	A
	保育者が子ども一人一人の気持ちや思いを受け止め、寄り添う関わりをしているか。	A	
	挨拶運動や体力づくりなど、基本的な生活習慣確立に向けた取組の工夫をしているか。	A	
	規範意識や豊かな心情を育むために、絵本等の教材を効果的に取り入れているか。	B	
たくましく生きる力の育成	◎様々な体験を通して、心身ともに健康でたくましく生きる力を培うことができているか。		
	子どもの実態や年間計画に沿って、継続的・計画的に指導を行っているか。	B	B
	体力づくりや園外活動等の取組を通して、健康な心身の育成につなげているか。	A	
	家庭と連携した絵本の読み聞かせや生活習慣の形成を図っているか。	B	
	生活・交通安全意識を高めるための取組を計画的に行っているか。	B	
教職員組織と研修	◎教育課題を達成するため教職員組織や指導力を向上させるための研修内容になっているか。		
	教育方針や活動内容を園・クラス等の便りを通して分かりやすく発信しているか。	A	A
	保育者自身が意欲的に研修に参加できるよう内容を工夫し、指導力の向上を図っているか。	B	
	子どもの育ちを支えるための保育内容や環境構成を考え、工夫しようとしているか。	B	
	危機管理や虐待などの研修を計画的に実施しているか。	A	
教職員の働き方改革	◎教職員のワーク・ライフ・バランスを考慮した業務の適正化等が図られているか。		
	経験年数など考慮し、できるだけ分掌組織がバランス良くなるよう努めているか。	B	B
	研修体制を見直し、工夫することで保育者の資質向上を図っているか。	B	
	ICTなどを活用し、負担軽減したり業務改善したりしているか。	A	
	アンケート等で、保護者から意見を聞き、行事や活動等の取組の改善に生かしているか。	A	

保護者・地域との連携	◎学校教育の充実のために保護者や地域との連携協力が図られているか。		
	園・クラス便り、園メール等を通して、園からの情報公開をしているか。	A	A
	支援センター活動が地域の子育て支援につながる計画・実践となっているか。	B	
	保護者、関係機関等との連携に努め、教育・保育活動の充実に努めているか。	B	
	職員は、保護者からの相談に適切に応じているか。	A	
施設・設備	◎児童生徒が安全に楽しい学校生活を送れる施設・設備になっているか。		
	教材や遊具等の定期点検や整備を行い、安全な生活を送れるようにしているか。	B	B
	清掃や緑化に努め、衛生的、機能的な環境の保持に努めているか。	A	
	計画的に不審者や災害等の避難訓練を行い、職員の危機意識や対応の向上に努めているか。	B	

評価〔A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや改善の必要がある D：改善の必要がある〕

3 成果と課題 〔○成果 ●課題〕

- コロナ禍が明け、体力づくり・挨拶運動など計画的に園・家庭・地域と連携を図り取り組んできたことで、子どもが自ら意欲的に取り組もうとする姿につながった。
- 基本的生活習慣や遊びの環境など、各年齢の発達を踏まえ、必要な経験ができるよう支援方法や環境設定について具体例から理解し合うことで、実践につながってきた。それらを、保護者におたより等を通して発信したことで、園への理解や保護者の悩み解決につながった。
- 子どもが主体的に遊びこめる環境や援助について具体的に探っていく必要がある。
- 基本的生活習慣の確立や絵本の読み聞かせの推進について、家庭と連携を工夫しながら進めていく。
- ICTを活用し、業務を見直すことはできたが、職員の実態や課題に応じての研修の内容・方法を工夫しながら、職員の資質向上を図っていく必要がある。

4 来年度の経営の重点

- 1 発達や年齢に応じた必要な経験ができるよう環境や援助の在り方を探る。
- 2 家庭等と連携を工夫しながら絵本の読み聞かせの推進や基本的生活習慣の確立を目指す。
- 3 職員の資質向上を目指す。

5 来年度の指導の重点

- 1 子どものおおまかな発達の道筋を知り、年齢に応じた経験ができるよう環境や指導の改善を図る。
- 2 長期的な計画の中で、家庭等と連携を工夫し、絵本の読み聞かせの楽しさを実践を通して伝えたり、基本的生活習慣を身に付けられるようにする。
- 3 職員の課題や実態から、研修の内容や持ち方の工夫を図り、資質向上につなげる。